

平成26年度 第4学年 音楽科

【音楽科の目標は・・・】

「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。」ことです。

【3・4年生では、こんな力を育てます。】

- (1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。

【本校の音楽科は】

- ・ 音楽活動の楽しさを味わって、学習への意欲を高めるようにします。
- ・ 旋律に合った歌い方を工夫しながら、響きのあるのびやかな声で歌うようにします。
- ・ リズムや旋律の反復や重なりを楽しさを感じ取って、演奏したり聴いたりします。
- ・ 旋律の特徴をとらえて、曲想を生かした表現を工夫します。
- ・ パートの役割を理解し、旋律の流れや音の重なりを生かして演奏します。
- ・ 楽器の音色を味わい、楽曲のよさや面白さを感じ取って聴くようにします。
- ・ パートに合う楽器を選んだり、歌声や楽器の音色の組み合わせを工夫したりしながら、友達とアンサンブルで楽しみます。

【評価について】	【保護者へのお願い】
<p>★ 次のような方法を総合的に組み合わせて評価していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽への関心・意欲・態度 毎時間の授業で歌唱・楽器演奏・発言・学習プリント・準備物などから評価します。 ○音楽的な感受や表現の工夫 歌やリコーダー演奏・合奏で、表現の方法を考え、演奏の仕方を工夫しているかを、授業での様子や演奏の発表などで評価します。 ○表現の技能 個別の技能テストや演奏の発表などで評価します。 ○鑑賞の能力 鑑賞の様子や身体表現、鑑賞後の感想、学習プリントへの記入などから評価します。 	<p>★ 音楽の授業では毎時間、次の物を用意します。</p> <p style="padding-left: 20px;">教科書・リコーダー ファイル・歌集(ドレミファランド) 筆記用具(音楽用の筆箱・鉛筆2本・赤鉛筆1本・消しゴム あればものさし)</p> <p>以上の物を、音楽用の手提げ袋に入れ、教室に置いておきます。 忘れ物が無いよう、ご家庭でも確認をお願いします。</p> <p>★ 長期休業中はリコーダー練習の課題を出します。 ご家庭でも聴いていただくと励みになると思います。</p>

月	学習内容	学習のねらい
4	はじめの一步 さくら さくら (鑑) さくら変そう曲	情景を想像し、気持ちを込めて表現する。
5	ひびけ歌声 飛べよツバメ (鑑) 「サウンドオブ ミュージック」から	各パートの旋律の動きをとらえ、響きのある伸びやかな声で歌う。 いろいろな声の響きや特徴を味わい、ミュージカルの音楽を楽しむ。
6	ひょうしとせんりつ エーデルワイス (鑑) トルコ行進曲 メリーさんの羊	拍の流れにのり、旋律のまとまりを生かして演奏する。 行進曲のリズムや、2拍子の流れを感じ取って聴く。
7	ラバースコンチェルト (鑑) メヌエット	拍子の違いを聞き取り、拍の流れにのって歌ったり指揮をしたりする。
9	にっぽんのうたみんなのうた まきばの朝 せんりつと音色 ゆかいに歩けば とんび めざせ楽器名人	曲想をとらえ、旋律の感じに合った声や歌い方を工夫する。
10	アンサンブルの楽しさ (鑑) 「水上の音楽」から	アンサンブルの音楽に親しみ、楽曲の構造や特徴を理解する。
11	アラ ホーンパイプ アラ ホーンパイプ (器楽)	各声部の役割を生かし、聴き合いながら演奏することにより、楽曲への理解を深め、アンサンブルの音楽を味わう。
	音のスケッチ 川はよんでいる もみじ	川をイメージしてつくられた楽曲を歌ったり聴いたりして、音楽を形づくっている要素に気付き、それをもとに工夫した音楽を自分たちで作る。
12	お祭りや民ようめぐり ソーランぶし (鑑) 日本のお祭りの音楽	我が国の音楽のリズムや旋律に親しみ、それらをもとに自分たちの表現を工夫する。
1	(鑑) サンバの音楽 (鑑) チャゴのえんそう (鑑) フラメンコの音楽 6年生を送る会の歌	いろいろな国の音楽に親しみ、リズムや楽器の特徴を感じ取る。
2	おどれサンバ えんそうのツボ ラ クンパルシータ	楽器やパートを選んで、楽曲に合った演奏を工夫する。
3	音楽のききどころ (鑑) ノルウェー舞曲 第2番	音楽を形づくっている要素を手がかりに、楽曲の構造をつかみ、全体を味わって聴く。
	みんなの音楽パーティー こきょうの春 音楽ランド	互いの音を聴き合い、音の重なりを楽しみ、友達と表現の工夫をしながらアンサンブルを楽しむ。

--	--	--